

事業者向け 児童発達支援自己評価表

公表日：令和3年 3月 1日

事業所名：リハビリ発達支援ルーム UT キッズ広陵

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		スペースに合った人数で療育実施しています。(体調や同室療育ができない際は個室での利用で対応をしています。)
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準の職員配置を行っています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			療育室内には段差のあるスペースがありますが、出入り口はバリアフリー化しており車椅子を利用している方にも安心して利用していただいています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			PDCA 研修を行っています。 職員ミーティングでは PDCA サイクル法を活用し、問題解決や業務改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者の意向を把握し改善できるところは早急に対応できるよう努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は現在実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			本年度はコロナ過のためリモートでの内部勉強会、外部研修への参加を積極的に行っています。
適切な支	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			それぞれのニーズに合わせた計画、スタッフ間の話し合いを随時行っています。

援 の 提 供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートを標準化して使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			症例検討を積極的に行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			対象児一人一人のニーズに合わせた療育の提供を心掛けています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		個別療育を提供しているため平日・休日・長期休暇で分けることなく、特別支援計画書に基づき課題を設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズがマッチすれば集団療育へのご案内のさせていただきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育前にスタッフ間で共有を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			保護者からの情報を伝達し、また、療育中の様子を話し次の療育につながるようにしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			療育終了後に、その日の様子を日々記録に記入しています。また、支援の検証・改善に繋げています。	

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に一度、保護者の方にモニタリングを行い、個別支援計画書・特別支援計画書の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			管理者、児童発達支援管理責任者はガイドラインの総則を読み統一しています。他職員にも一読しておくよう努めています。
関 係 機 関 や 保	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達支援管理責任者で支援の統一を図り、職員にも一読しておくように努めています。サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者、必要に応じて療育現場で担当している職員が参加しています。

護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			電話連絡、見学の受け入れ、保育所等訪問支援を通して学校との情報共有を行っています。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的措置の必要な利用者の受け入れはしていません。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	必要であれば連絡をし、情報共有を行うようにしています。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			情報提供を求められた場合は対応していきます。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			定期的に研修を受けています。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在、交流の機会はありません。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	今年度は参加する予定はありません。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			療育終了後にフィードバックを行い、今日の内容、状況、課題について毎回話し、共通理解をしています。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	コロナ禍の為、規模を縮小することや個別での対応を行って保護者様の悩み、思いなどを話し合える場を設けています。
保 護 者 へ	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約前に重要事項説明書・利用契約書を使い、支援内容、利用者負担等について伝えていきます。また、いつでも閲覧できるように提示しています。

の 説 明 責 任 等	⑳	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			専門職のスタッフが対応し、必要な支援を行っています。事業所内相談を実施しています。
	㉑	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者勉強会を計画実施し、茶話会を通して保護者同士のつながりの場を提供していますが、今年度は新型コロナウイルス感染症により実施していません。
	㉒	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			保護者様の要望に対して、真摯に受け止め、即対応できるようにしています。
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			定期的に HP のブログ等で活動概要、行事のお知らせをしています。
	㉔	個人情報に十分注意しているか	○			ブログなどで写真を載せる際保護者様に承諾を得ています。
	㉕	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			口頭で理解が難しい場合は、視覚でプリントなどをお渡しして、意思の疎通に努めています。
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	コロナの兼ね合いもあり今年度は行っておりません。
非 常 時 等 の 対 応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを使い研修を行っています。また、避難訓練実施後は報告書を作成し保護者室に掲示しています。
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			火災、地震、防犯訓練を行っています。
	㉙	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県主催の虐待防止研修に参加し、定期的に事業所内研修会を行っています。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束のルールを決定し、事業所内ミーティングで確認、保護者に説明し了解を得た上で療育を実施している。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	集団療育、行事などでおやつを提供する際は、保護者の方より聞き取りをしています。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			発生した場合は、報告書を作成し職員間で共有し、未然に防ぐ努力をしています。